

防護柵設置工

小規模渓流対策工

インパクトバリア ロタイプ

NETIS登録番号: KT-220247-A

東亜グラウト工業株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル ▼E■ 03-3355-5100 FAX 03-3355-3850

URL https://www.toa-g.co.jp/ mail info.01@toa-g.co.jp

[資料請求先] 防災グループ (技術開発室、TEL.03-3355-5100、FAX.03-3355-3850) [支店] 北海道 (TEL.011-783-7832)、東北 (TEL.022-237-3041)、北陸 (TEL.025-285-8633)、中部 (TEL.052-842-8595)、関西 (TEL.06-6307-0880)、中四国 (TEL.082-943-7341)、九州 (TEL.092-402-0587)



実物大実験での土砂捕捉事例



設置事例

概要

渓流に設置する土石流および流木の捕捉を目的とした柔構造の土石流・流木捕捉工であり、土石流荷重作用時にリングネットとエネルギー吸収装置のブレーキリングが変形することで大きな衝撃エネルギーを吸収できる柔構造物工法である。

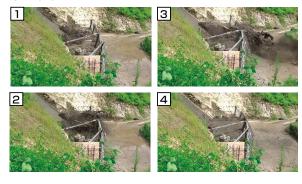
特長

- 1. 水理模型実験を実施し、D₉₅=30cm以上における土砂流の 捕捉性能を確認。
- 2. 実物大の土砂実験を実施し、流下土砂に対する防護柵の耐衝撃性能を確認。
- 3. 短期間での施工が可能(最短1ヵ月)で、非出水期の期間 内に設置が可能。
- 4. 土砂・流木堆砂後の除石は、上流側もしくは下流側からでも可能。
- 5. 透過構造であるため、土石流に加え流木の流下も防止。
- 6. 土砂災害後における応急対策工としての適用も可能。

実物大実験

・斜面上部から土砂を流下させ、土砂流に対する防護柵の耐 衝撃性能を確認(衝撃力168kN/㎡)。

●実験実施状況



水理模型実験

●実験概要および結果

- ・水路勾配を土石流発生区間の勾配となる20°で実施。
- ・土石および流木に対する効果検証を実施。
- ・95%礫径30cm(リング直径相当)以上の土砂流において、 不透過型砂防堰堤と同等以上の土砂流・流木捕捉性能を 有することを確認。



構造

